



聖心だより

<http://www.tky-sacred-heart.ed.jp>

2022年3月1日
聖心女子学院初等科
校長 大山 江理子
3月号

聞くことは、全身で聞くこと 相手も私も変わる、変容する

校長 Sr.大山 江理子

3月は雛の月。皆さまのご家庭では雛人形を飾られますか？日本の暦では桃の節句を祝い、春を迎えますが、カトリック教会では今年は3月2日から、4月17日に迎えるイエスのご復活に向けての回心の季節、四旬節が始まります。2日は「灰の水曜日」です。昨年の「枝の主日」にいただいて、1年間飾っておいた木の枝を燃やして作った灰を額に受けて、神様に向けて心を新たにします。学校でも休み時間に灰の式を聖堂で行います。灰は私たち人間が限りある存在であることを思い起こさせ、謙虚な心へと私たちを導きます。額にほんの少しの灰をいただくだけで、心改まるものです。



「回心」とは、心を改め、神様に心を向けること、心を回して、心の向かう方角を神様の方に定め直すことです。神様の言葉を素直に聞き、それに従って生きることを目指します。

2月の各学年の保護者会では、子どもの話を「聞く」ことについてお話しさせていただきました。3段階で、まず聞いた言葉をくり返す、言い換える、最後に共感するという聞き方をご紹介しました。お子さんに耳を傾けてごらんになりましたか？

聞く、ということは重要な関わりです。あるドクターは患者さんの話を聞いたら、その言葉を受けて「〇〇と感じているんですね」と返して、じっと待つのだそうです。そうすると、患者さんの方から次の言葉を発してくれるということです。患者さんは受けとめてもらえたという安心感から力を得て、自分のさらに深いところにあるものを自ら言葉にしていくのかもしれない。「聞く」ということは「全身で聞く」ということだと言う方もあります。相手に全身でぶつかっていくときに、引き出すことができる、聞くということは受動的なことではあっても、自分からも向かっていかななくてはならない力のいることだ、ということです。語る人は聞く人によって変わる、ということでもあるようです。聞くことによって開かれる変容があります。このようなときには「聴く」という字がふさわしいでしょう。

聞き上手という方の様子を観察してみました。相手に集中して、注目しています。同時に、語られる言葉を深く考えて、意味をたぐろうとしています。しかし、自分の考えや思いつきを安易に発したりせずに、語る人の思いに沿って、自分に生じた気持ちや感想を伝えているようです。

お子さんは日々新しいことを学び、経験し、心を広げ深めています。お子さんに耳を傾け、お子さんの言葉に学ぶ楽しさや生きる喜びを聞き取り、お子さんの心の深さを感じとっていらしてください。お子さんの言葉を受けて、返していくとき、話し手と聞き手の間に思いがけない新たなものが生まれるかもしれません。「子どもだから」といった前提や思い込みなしに、お子さんの言葉をしっかり聞き取り、受けとめていらしてください。イエスはとてもよい聴き手であったに違いありません。四旬節にこのことにも深く気づけるようになりたいものです。

【注文お弁当について】

4月分の注文は、現在の学級名で1つ上がった学年で申し込んでください。

例) 3年ばら組35番 聖心花子 ⇒ 4年ばら組35番 聖心花子

* 5月以降の注文は、正規の学年クラス番号でお申し込みください。

非認知能力 —いつの時代も変わらぬ聖心で培いたい力—

副校長 中塩 百合



コロナ禍2年目となる今年度は、行事は完全な形では行えないまでも工夫を重ね、一步、二歩と前進できたのではないかと感じています。計画の度重なる変更は小さなことではありませんが、子どもたちの笑顔を見たい、少しでもより良い教育の場になるようにと、皆で知恵を出し合い協力した一年でした。保護者の皆様にはいつも温かく見守り、支えていただきましたことを心より感謝申し上げます。

年度末には、一年の成長や努力を表すものとして、子どもたちは評価票を持ち帰ります。褒められると笑顔でスキップしながら帰る子どもがいますが、お父様やお母様の期待に応えられたかと、どきどきしながら帰路に着く子どももいます。まずは、様々な制限があった中、一年間一生懸命学校に通い、学んだことを褒めてください。そして、成長したところは具体的に、課題については子どもの努力不足だけに理由を見つけるのではなく、ご家庭として環境を整えるなど子どもを支える取り組みについても示しながらお話し合ってください。一人の努力ではなく、家族皆で取り組む姿勢が子どもたちの意欲になります。

また、これからの子どもたちに培いたい力として、最近よく言われるのが「非認知能力」です。「認知能力」の代表的なものは、知識や計算力などですが、「非認知能力」は物事に対する誠実さ、忍耐力や自制心、そして主体性や好奇心といった能力のことを指します。新たな知識を得ることは学校教育の中心となる部分ですが、その先にあるインプットした知識をどう関連付けてアウトプットするかがより大きな意味を持ち、そのためには「非認知能力」である好奇心や主体性が欠かせません。また、社会に出て人と関わる時、誠実さや忍耐力は重要なポイントです。面接では、「認知能力」の土台となる「非認知能力」の視点からもお話いたしますので、その点についても褒めてください。子どもたちの中に「非認知能力」への意識が生まれると、「認知能力」の向上にも繋がります。

聖心の卒業生が社会の様々な場で認められる理由のひとつは、この「非認知能力」が備わっているからと言われます。聖心で学ぶ子どもたちには、伝統を受け継ぎ社会に貢献できるよう、これからも様々な場面で、誠実であること、最後までやり抜くこと、自ら行動することの大切さを伝えていきたいと思えます。

【各学年の絵手紙】



3月・4月中旬の行事予定

3月	1日(火)	感謝のミサ(4限)	12日(火)	学委選挙・1.5年写真撮影
	2日(水)	母の会代表幹事会 灰の水曜日	13日(水)	学委任命式
	3日(木)	5限まで授業		1年・転入・編入生保護者会
	7日(月)	ハイチデー	14日(木)	下校グループ集会① 聖木曜日
		1年・転入・編入生保護者会	15日(金)	聖金曜日
		~10日(木)1-4年展示発表	16日(土)	聖土曜日
	8日(火)	面接日①・午前授業	17日(日)	復活の主日
	9日(水)	面接日②・午前授業	18日(月)	児童会立ち会い演説会
	10日(木)	面接日③・午前授業	19日(火)	児童会任命式
	14日(月)	午前授業	20日(水)	午前授業
	15日(火)	午前授業・6年生を送る会・大掃除		合同保護者会①・学年保護者会(5-6年)
	16日(水)	1-5年修了式・1stステージ修了式	21日(木)	午前授業
	17日(木)	卒業式		合同保護者会②・学年保護者会(3-4年)
4月	7日(木)	前期始業式	22日(金)	午前授業
	8日(金)	入学式		合同保護者会③・学年保護者会(1-2年)
	11日(月)	午前授業		